



ワシントン日本語学校(補習授業校)だより



はなみずき

mail: wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



ワシントン日本語学校事務局

HOT LINE (301)962-7415

Phone (301)962-7410

FAX (301)962-7411

新設幼稚部年中組

がんばってます！

校長 三原 洋一

昨年9月7日にスタートした新設幼稚部年中組も、早いもので5か月が経ちました。本年度、夏の開設までに、幼稚園教育要領を踏まえて、『日本語に親しみ、日本語で読んだり書いたりする楽しさに触れさせ、日本語の基礎（ひらがな、語彙、数）を学ぶとともに、様々な楽しい活動を通して日本文化や習慣に関する理解を深める。』という本校の方針のもと、高梨教諭が中心となり、他の補習校等を参考にして、カリキュラムを作成しました。



カリキュラムを作成するにあたっての留意点としては、まず、保育時間があります。幼稚園教育要領では、保育時間について、『教育課程の編成基準を示し、幼稚園の1日の保

育時間の標準を4時間と定め、各幼稚園において、創意工

夫を生かし、
幼児の心身の
発達と幼稚園
及び地域の実
態に即応した



適切な教育課程を編成し、3歳以上の幼児に対し保育（幼児教育）を行うものとしている。』とあります。本校の幼稚部年中組の保育時間は、9:35～14:15の4時間40分です。この日本より長い時間設定が、本校の園児にとって適当なのかを、本年度の保育を通して、検証していくこととしております。

次に、日本とは違い、平日を英語の環境で過ごしている園児も多いことが予想されるため、本校の保育は、日本語環境を意図的・計画的に提供する貴重な学習の場であることを認識した上で指導に当たることとしました。



さらには、日常生活の中で、我が国や米国の社会の双方における様々な文化や伝統に親しむことをねらいとして、日本の文化や伝統に親しむ際には、正月や節句などの日本の伝統的な行事、唱歌、わらべうたや伝統的な遊びに親しんだり、米国の日本と異なる文化に触れる活動に親しんだりすることを通じて、社会とのつながりの意識や日米双方の国際理解の意識の芽生えなどが養われるようにすることとしました。

こうして作成したワシントン日本語学校カリキュラムに沿って、子どもたちは元気に学びや活動を続けています。



当初は初めての集団生活に戸惑った子もいましたが、先週で18回の保育を終え、ひまわり組、すみれ組ともに楽しく、元気に登校してきています。担任や補助教員との信頼関係も生まれて、一人一人が個性を出すことができるようになっていきます。はじめは英語を話す子が多かったのですが、最近では、ほとんどの子が、日本語で話したり活動したりすることができています。体験的な活動だけでなく、鉛筆の持ち方や、ひらがなの読み方などにも取り組んでいます。

年中組の保護者の皆様も、保育計画をよく理解していただくとともに、教室当番等にも協力をしていただいております。音楽発表会などには主体的に支援をしてくださっています。

また、簡単な宿題や準備物等にもご協力いただき、本校の『共働学習』についても理解をしていただいていることに感謝申し上げます。



おかげさまで、現在のところ、計画通りに活動を実施することができています。残り8回の授業日も、

子どもたちの笑顔があふれる充実したものにしていくとともに、次年度に向けて

カリキュラムの中身をよりよいものに練り上げていくこととしています。

保護者の皆様のご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

